

# 人間雑記帳

青森県卓越技能者表彰受賞  
 ◆坂本彰彦 さん（津軽塗伝統工芸士 西瀬良沢・50歳）

## 体験学習を通して津軽塗の後継者ができたら

坂本さんが津軽塗の世界に入ってきたきっかけは、津軽塗職人だったおじさんの影響と、両親が地元就職して欲しがっていたことこの二つの理由からだそうです。そして高校卒業後、株式会社久保漆器という会社に就職し津軽塗の仕事に携わるようになった。

「もともと営業志望で就職したのですが、津軽塗のことを良く知らないし営業はできないというので、まずは津軽塗の仕組みを一年勉強することになりました」と話す坂本さん。そのうちにどんどん津軽塗の魅力に惹かれ、気が付くと現在の工芸士の道へと進んでいったそうです。「学生時代と違って一日があつたらう間です」

た。多分面白かったのだでしょう。二年間は無遅刻無欠勤でがんばるほどのめり込んでいました」と修業時代を懐かしそうに語ってくれました。

坂本さんが会長を務める「津軽塗伝統工芸士会」では、三年前か



▲坂本さんオリジナルの「玄関のちょい掛け」。松葉をイメージした松葉紋の最新作です。これを腰掛けるととても便利です。

ら弘前市の小学校を中心に津軽塗の体験学習を開催し、津軽塗の普及に努めています。そしてこのたび母校である鶴田小学校で津軽塗の体験学習が実現しました。

「自分も子どものころは津軽塗の仕組みすら知らなかったの

この体験学習を通して興味を持ってもらいたい。子どもたちの中から、後継者が出てくれたらいいなという気持ちで教えています」

現在県内には、坂本さんを含む二十七人の津軽塗伝統工芸士があり、年齢層は三十代後半から八十年代前半までです。伝統工芸士になるためには、十二年間の修業を経て、試験に合格して始めて認定されるそうです。

普段坂本さんは、弘前市の会社からの注文で、汁碗や茶托などの作品を作っているとのこと。そのほかに毎年十月に青森市で、津軽塗伝統工芸士会の会員で作品展を開催しており、そこでオリジナル作品の発表をしているそうです。

最後に今後の活動について伺うと「従来の形ではなく、若い人たちにも使ってもらえるような形や色など、新しい津軽塗を考えていきたい。」と意気込みを語ってくださいました。

### 編集うらばなし

皆さんはインフルエンザの予防対策をしましたか？最も確実な予防はやはり流行前のワクチン接種です。しかし、インフルエンザワクチンは接種してから効果を発揮するまでに約二週間かかります。ワクチンには二回接種と一回接種（中学生以上は一回でも良い）があり、二回接種する場合は二回目は一回目から一〜四週間あけて接種します。インフルエンザの流行期間は十二月〜三月ですので、十一月中旬ころまでに接種を終えておくことより効果的だそうです。日常生活でも、体調を整えて抵抗力をつけ、インフルエンザにかからないように気を付けましょうね。

## 戸籍の窓

(10月31日現在：敬称略)

### □お誕生おめでとう

町名	氏名	保護者
妙堂崎	齋藤 柚那	(康仁)
鷹ノ尾	齋藤 優	(栄悦)
駅東町	工藤 彪十	(博照)
境	須郷 智貴	(正之)
亀田	下山 晴斗	(正仁)
大巻	下山 鉄翔	(康祐)
みどり町	中野 紅葉	(豪)
廻堰	澁谷 碧紀	(真一)

### □ご結婚おめでとう

町名	氏名	氏名
(亀田)	(下山)	正仁
(亀田)	(山本)	由佳
(亀田)	(澤田)	士香
(弘前市)	(澤田)	由香
(寺町)	(小野)	修浩
(寺町)	(石岡)	恵理香
(田中町)	(成田)	学史
(あさひ町)	(高橋)	和江

### ■ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
菖蒲川	田中富貴子	48
境	須郷 さだ	90
仲町	澤田喜代一	88
富士見町	八木橋みつゑ	83
大性	石岡 信幸	48
松倉	永田 せつ	91
桜町	赤城 エコ	78
廻堰	瀬戸 みゑ	90
横菴	木村 清助	59
廻堰	福田 タキ	93
亀田	齊藤 春彌	82
胡桃館	太田又四郎	98
木筒	秋庭 壽夫	80
駅前通り	赤城 やさ	79
亀田	齊藤 やよゑ	76
妙堂崎	澁谷 勝美	77
瀬良沢	成田 義雄	86
みどり町	成田 咲子	69

### (人の動き)

10月31日現在 (前月比)  
 人口 15,105人 (+7人)  
 男 7,103人 (+4人)  
 女 8,002人 (+3人)  
 世帯 5,125 (+18)

出生 9人 転入 38人  
 婚姻 5組 転出 21人  
 死亡 19人



(この欄に載せたくない方は、届ける時に窓口係へ申し出てください)